

(令和3年度～)

1 学校基本情報

種別	聴覚障害	学部・学科	幼・小・中・高・専	児童生徒数	(男) 102 (女) 73	計 175
ホームページ	http://www.ohmiya-sd.spec.ed.jp/					
アクセス	JR 宇都宮線土呂駅下車徒歩7分					
教育課程等の特徴	聴覚障害などの障害特性を踏まえた教育を実践。高等部本科は普通科、産業工芸科、生活デザイン科を設け、専攻科は情報・デザイン科(情報ビジネスコース、技能実習コース)を設けている。その他、支援籍学習、乳幼児教育相談など、関係諸機関、地域との連携に努めている。					
特色ある学校行事や部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼小中高と様々な行事があり、運動会、のばら祭、マラソン大会などを実施している。 ・ 部活動は野球部、パレー部、卓球部、陸上部、美術部があり、中高共同で活動している。 ・ 野球部は関東聾学校野球大会で準優勝、卓球部は2年連続全国聾学校卓球大会に出場し女子は優勝(二連覇)をしている。 					
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校公開・授業見学会・進路関係者向け学校公開各1回 難聴乳幼児諸機関担当者会3回 ・ 坂戸ろう学園との交流、支援籍学習や交流及び共同学習を実施している。 ・ 年1回ののばら祭を開催し、地域との交流に努めている。 					
進路について	幼稚部・小学部・中学部は内部進学もしくは外部進学している。高等部本科では、大学や専攻科への進学と就職に二分されている。ろう重複は福祉的就労など、専攻科では企業就労100%(製造業や事務職)を目指している。					

(幼児児童生徒数：R2.5.1 現在)

本校の魅力！

幼児児童生徒一人一人の発達段階や将来像に合わせた適切な指導及び合理的配慮の実施、部活動を通して豊かな人間形成を図り、放課後補習や課外研究で自ら学ぶことによって最大限能力を發揮しようとする児童生徒の育成

- ・ 聴覚障害の特性に応じた一人一人の実態に応じた「個別の教育支援計画・個別の指導計画」に基づき、集団による教育実践、個別対応の支援を行います。
- ・ 卒業後の進路を見据えて、中学部、高等部の進路指導の一環として産業現場等における実習を行います。
- ・ 進路を考える上で、聴覚障害のある職員が当事者として様々な相談にのってくれます。
- ・ 学校内では共通コミュニケーションとして手話を使っており、幼児児童生徒にとって分かりやすい授業づくりに取り組んでいます。
- ・ すべての授業の中で日本語指導への意識を高め、日本語習得のために日々研究しています。

(普段の様子)



(運 動 会)



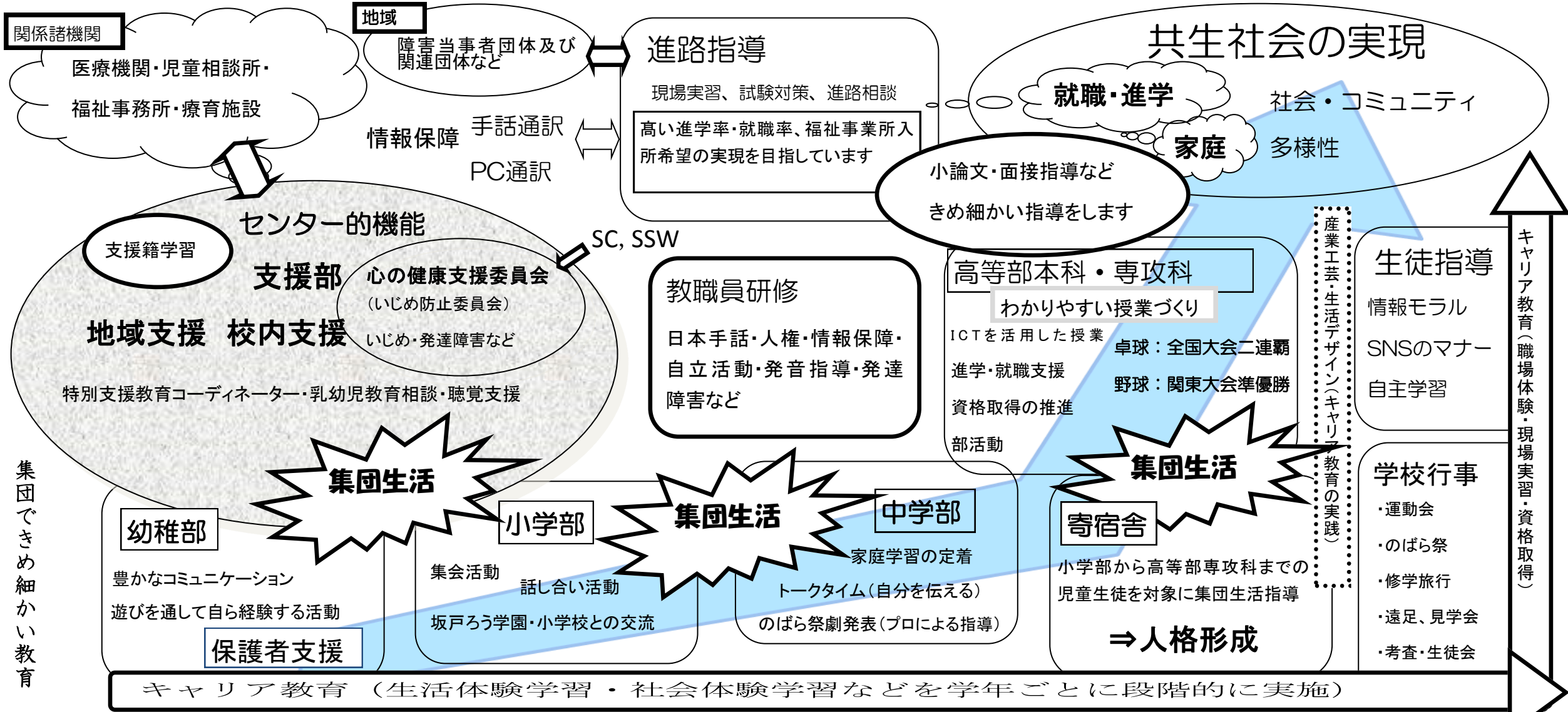
(の ば ら 祭)



すべての幼児児童生徒が「わかる授業」を受けられるように努めます！！
コミュニケーションの楽しさを享受できるように環境作りに励みます！！

本校の特色

- ◇学校教育目標 自分の良さを伸ばし、一人一人が輝く
- ◇本校の教育方針 ①言語教育の充実 ②基礎基本の重視 ③生活指導の充実 ④健康・安全教育の充実 ⑤保護者・関係諸機関との連携 ⑥教育環境の整備 ⑦教職員の研究・研修の充実
- ◇地域との連携 医療・療育・福祉機関との連携充実と、聴覚障害教育への興味関心を一層高めるための情報発信の充実



合理的配慮の実施 (個別の教育支援計画・個別の指導計画)

手話をはじめとする多様なコミュニケーション手段を活用します！日本語の指導に力を入れています！保護者支援も行っています！